

2021年度
日 本 史
(問 題)

〈R03153316〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、氏名欄に氏名を記入すること。
 - (2) マーク欄にははっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと。

マークする時	<input checked="" type="radio"/>	良い	<input type="radio"/>	悪い	<input type="radio"/>	悪い
マークを消す時	<input type="radio"/>	良い	<input type="radio"/>	悪い	<input type="radio"/>	悪い

5. 記述解答用紙記入上の注意
 - (1) 記述解答用紙の所定欄（2カ所）に、氏名および受験番号を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) 所定欄以外に受験番号・氏名を記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 - (3) 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。

数字見本	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- (4) 受験番号は右詰めで記入し、余白が生じる場合でも受験番号の前に「0」を記入しないこと。

(例)	3825番⇒	万	千	百	十	一
		□	3	8	2	5

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。

1

次の文章を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

縄文時代の晩期、北部九州で水田による米づくりが始まった。これは大陸で発達した農耕文化の影響を受けたもので、紀元前4世紀頃には水稲農耕を基礎とする弥生文化が西日本に成立し、やがて東日本へも広まっていく。農耕とかわる労働や祭りを指導・統率する首長もあらわれて、地域集団をまとめるとともに、他の集団との交易や争いの際も主要な役割をはたし、政治的な権限を強めていった。古墳時代になると、性能のよい農具や土木具がとりいれられ、それまで未開拓だった洪積台地の開発がすすむなどして農業生産力が著しく向上した。様々な農耕祭祀や呪術が行われ、地域社会では、開発や祭祀を主導する首長と被支配者である民衆との間の生活の分離もすすんだ。

律令国家が成立すると、稲は古代国家を支える生産物の一つとして明確に位置づけられた。戸籍に附された人々には、実際の生業にかかわりなく口分田が班給され、収穫の約3%程度の稲が徴収された。もともと農民の生活維持のために行われていたとみられる出挙も、律令国家体制を維持する上で重要な財源となっていた。この他、民衆には調・庸・雑徭、さらに兵役などの負担も課せられた。

奈良時代、鉄製の農具はいつそう普及し、稲の収穫も少しずつ増した。貴族や寺院、地方の有力者たちによる田地開発も進んだ。それでも当時の農業技術では天候不順や虫害などの影響を受けやすく、飢饉や疫病も起こりやすかった。このため人びとの間に貧富の差が拡大し、社会の中に律令体制を揺るがす様々な問題や動きがみられるようになると、班田収授の実施は困難となっていく。これに対し班田収授の体制を維持する施策も講じられたが、それでも班田のおこなわれない地域は増えていった。

こうして中央集権的な律令体制がゆきづまると、地方政治では国司の権限が強化され、受領と呼ばれる人びとが力をふるうようになる。受領は、田堵に田地の耕作を請け負わせ、官物や臨時雑役を課すなどした。「受領は倒れるところに土をつかめ」といったという又の藤原陳忠の話は、強欲な受領の姿をよくあらわしている。

問A 下線部イに関連する遺跡として、正しいものはどれか。

1. 長崎県の板付遺跡
2. 熊本県の吉野ヶ里遺跡
3. 佐賀県の菜畑遺跡
4. 大分県の須久岡本遺跡
5. 福岡県の砂沢遺跡

問B 下線部ロに関連して述べた文として、正しいものはどれか。

1. 穢れや災いから逃れるために盟神探湯が行われた。
2. 5世紀頃、古墳の副葬品が武器・武具から鏡・玉など呪術的色彩の強いものとなった。
3. 亀の甲羅を焼き吉凶を占う太占が行われた。
4. 収穫を感謝し、秋に新嘗の祭りが行われた。
5. 銅鐸などの弥生時代以来の青銅製祭器が多く用いられた。

問C 下線部ハに関連して述べた文として、正しいものはどれか。

1. 徴収されると、おもに諸国において貯蔵された。
2. 労働力の提供の代わりに徴収されるものであった。
3. 女性の田地からは徴収されなかった。
4. 61歳以上の者の田地からは徴収されなかった。
5. 賤民は口分田が班給されず、徴収されなかった。

問D 下線部ニに関する説明として、正しいものはどれか。

1. 成年男子のみに行われるものであった。
2. 強制的なものから次第に任意のものへと変化した。
3. 地方財政ではなく中央財政を支えるものとして重視された。
4. もともとは凶作にそなえて粟を徴収するものであった。
5. 稲を貸し付け、収穫後、利息を加えて徴収するものであった。

問E 下線部ホに関する説明として、誤っているものはどれか。

1. 成年男子3～4人に1人の割合で兵士として徴発された。
2. 兵士の調・庸・雑徭は免除されなかった。
3. 兵士の武器や食料は自弁が原則であった。
4. 兵士は諸国の軍団で訓練を受けた。
5. 衛士の任期は1年、防人の任期は3年であった。

問F 下線部ヘに関連して述べた文として、誤っているものはどれか。

1. 浮浪・逃亡が増えた。
2. 偽籍が目立つようになった。
3. 私度僧となる者がいた。
4. 調・庸の品質の悪化や未進が多くなった。
5. 公田（乗田）の賃租が行われた。

問G 下線部トに関連して述べた文として、正しいものはどれか。

1. 諸国に押領使や追捕使を置いた。
2. 「処々の田荘を罷めよ」と命じる法令を出した。
3. 桓武天皇は、班田の期間を12年1班に改めた。
4. 聖武天皇は、雑徭の期間を年間30日から15日に半減させた。
5. 宇多天皇は、延喜の荘園整理令を出した。

問H 下線部チに関連して述べた文として、正しいものはどれか。

1. 受領とは本来、国務を後任者へ引き継いだ前任国司のことをいった。
2. 受領は、任地に派遣した在庁官人を介し、地元の目代らを指揮することがあった。
3. 受領は現地に赴任した国司の最高責任者をいい、掾や目が通例であった。
4. 国衙や受領の館は重要な役割を持っていたが、郡家の役割は衰えていった。
5. 受領以外の国司は、現地に赴任しても業務を行わない遙任が増えた。

問I 下線部リに関連して述べた文として、正しいものはどれか。

1. 課税対象となった田地は、検田使の入部を拒否できた。
2. 官物が田地の広さに応じて賦課されていた。
3. 官物は租・庸・調とは別に賦課された。
4. 臨時雑役は公出挙の系譜を引く税とみられる。
5. 臨時雑役は力役（夫役）を除く臨時の諸課役である。

問J 空欄又にあてはまる語句はどれか。

1. 『今昔物語集』
2. 『栄華物語』
3. 『小右記』
4. 『土佐日記』
5. 「尾張国郡司百姓等解」

2 次の史料とその解説文を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

（史料）

イ 元の如く柳當たるべきか、他所たるべきや否やの事

右、……なかなずく **イ** 郡は文治に右幕下はじめて武館を構え、承久に **ハ** 朝臣天下を并吞す、武家においては、もっとも吉土と謂うべきか、……但し、諸人もし遷移せんと欲せば、衆人の情にしたがうべきか、……

一、儉約を行わるべき事

近日 婆佐羅 と号して、専ら過差を好み、……目を驚かさざるはなし、頗る物狂と謂うべきか、……もっとも厳制あ

るべきか、

一、無尽銭・土倉を興行せらるべき事

……貴賤の急用たちまち闕如せしめ、貧乏の活計いよいよ治術を失う、いそぎ興行の儀あらば、諸人安堵の基たるべきか、

一、寺社の訴訟、事によって用捨あるべき事

14世紀に入ってしばらくすると後醍醐天皇は反鎌倉幕府勢力を募り、倒幕に成功した。後醍醐は積極的に新たな政治を推進したが、所領に対する権限の確認をすべて **ト** で行おうとするなど無理な手法もあって長続きせず、足利尊氏が幕府を開いた。尊氏はそれに際し、今後の施政方針を示した建武式目を制定した。同式目には、当時の社会が抱えていたさまざまな問題をうかがうことができる。上に引用したのはその冒頭と第1・6・16条の一部で、幕府の所在地に関する問題や、流行していた気質・風俗、のちのちまで幕府を規定する経済に関わる事柄、宗教に対する幕府の姿勢などが示されている。

京都を脱出した後醍醐は吉野を本拠として幕府と抗争を続け、南北朝内乱が展開した。ようやく南北朝が合体したのは、3代将軍足利義満のときだった。このほかにも義満は数々の事績を残し、まさに室町幕府確立の立役者といえるが、さらに日明貿易を開始して外交にも新局面を開いた。

問A 空欄イに入る語はどれか。

1. 京都 2. 鎌倉 3. 六波羅 4. 福原 5. 奈良

問B 下線部ロの人物はどれか。

1. 平清盛 2. 平重盛 3. 源頼義 4. 源頼朝 5. 源義仲

問C 空欄ハに入る人名はどれか。

1. 時政 2. 政子 3. 義時 4. 泰時 5. 時頼

問D 下線部ニの気質をもつ武士として有名な人物はどれか。

1. 足利直義 2. 足利基氏 3. 佐々木尊誉 4. 新田義貞 5. 北条時行

問E 下線部ホに関連して説明した次の文a～dのうち、正しいものが2つあるが、その組み合わせはどれか。

- a 建武式目では、土倉の活動を抑制して人びとを安心させようとした。
b 正長の土一揆は、京都の酒屋や土倉を襲撃して借金証文を焼き払った。
c 足利将軍家の財産は、公方御倉という京都の複数の有力土倉に委託されるようになった。
d 酒屋役や土倉役は、幕府が酒屋・土倉に夫役提供を命じるものだった。

1. aとb 2. aとc 3. aとd 4. bとc 5. bとd

問F 下線部ヘに関連し、南北朝～室町時代の仏教に関する説明として、正しいものはどれか。

1. 足利尊氏・直義は南北朝内乱の戦死者をとむらうため、国ごとに安国寺・利生塔をもうけた。
2. 足利尊氏・直義は元に建長寺船を派遣した。
3. 足利尊氏・直義は後醍醐天皇の冥福を祈るため、南禅寺を建立した。
4. 五山制度では、五山の下に十刹および十刹と同格の諸山が位置づけられた。
5. 官寺に統括された僧侶たちは僧録とよばれた。

問G 空欄トに入る語はどれか。

1. 院宣 2. 院庁下文 3. 宣旨 4. 令旨 5. 綸旨

問H 下線部**チ**の期間に起きた事柄a～cを古い順に並べたうち、正しいものはどれか。

- a 半濟令がはじめて発布された。 b 北畠親房が『神皇正統記』を著した。
c 今川貞世（了俊）が大宰府を制圧した。

1. a→b→c 2. a→c→b 3. b→a→c 4. b→c→a 5. c→a→b

問I 下線部**リ**に関して述べた文のうち、誤っているものはどれか。

1. 将軍就任後、幕府が京都市政権を掌握した。 2. 室町につくった邸宅は、花の御所といわれた。
3. 娘が天皇の准母となった。 4. 太政大臣となった。
5. 有力守護土岐氏を討伐した。

問J 下線部**又**に関連して述べた次の文X・Y・Zの正誤の組み合わせのうち、正しいものはどれか。

- X 義満は、明への国書で「日本国王」の称号を用いた。
Y 日本側の明での滞在費は、日本側が負担した。
Z 貿易船は、明の皇帝が発行する勘合を所持する必要があった。

1. X-正 Y-正 Z-誤 2. X-正 Y-誤 Z-正 3. X-正 Y-誤 Z-誤
4. X-誤 Y-正 Z-正 5. X-誤 Y-誤 Z-正

3 次の史料は、文化13（1816）年に成立した随筆『世事見聞録』の一部である。これを読み、下記の設問（A～J）に答えよ。解答はもっとも適当なものを1つ選び、解答記入欄のその番号をマークせよ。

一体、小前百姓といふもの、繁華の地のその日渡世の者と同じ振合ひにて、何程に稼ぎ継ぎたりとも凌ぐに足りかぬるものなり。もつとも繁華の地は種々の所業あるゆゑ、凌ぎゆくこと安けれども、百姓は農業一箇ゆゑ、その道に弛るれば他国へ出るのほかなし。すべて村内にても、ホといへるよき地所はみな福有等が所持となり、へにして実入り悪しき地所のみ所持いたし、（中略）依つて盛んなるものは次第に栄えておひおひ田地を取り込み、次男三男をも分家いたし、いづれも大造に構へ、また衰へたるは次第に衰へて田地に離れ、居屋敷を売り、あるいは老若男女散々になりて困窮に沈み果つるなり。当世かくの如く貧福偏り勝劣甚だしく出来て、有徳人一人あればその辺に困窮の百姓二十人も三十人も出来、たとへば大木の傍に草木の生ひ立ちかぬる如く、大家の傍には百姓も野立ちかね、自然と福有の威に吸ひ取られ、困窮のものあまた出来るなり。福有はその大勢の徳分を吸ひ取りて一人の結構となし、右の如く栄花を尽し、あるいは他所までも財宝を費える程の猶予出来るなり。（中略）百姓の一揆徒党など発る場所は、極めて右体の福有人と困窮人と偏りたるなり。百姓の騒動するは、領主・地頭の責め誣ぐる事のみにはあるべからず。必ずその土地に有余のものあつて大勢の小前を貪るゆゑ、苦痛に迫りて一揆など企つるなり。

問A 下線部**イ**に関連して、江戸時代の都市とその生活の説明で正しいものはどれか。

1. 城下町では、寺社地はまともだったが、武士や町人が居住する空間は分けられていなかった。
2. 自治的に運営された町は、通りをはさんだ両側の家々によって構成されることが多かった。
3. 江戸の住人には町人足役が課されたため、江戸から流出する者が絶えなかった。
4. 百姓と町人は完全に分離されていたので、町人が新田開発を請け負うことはなかった。
5. 家持以外の裏長屋の者も町の運営に参加できた。

問B 下線部**口**の内、肉体労働などによってその日稼ぎの賃金を得る者を何というか。

1. 下人 2. 譜代 3. 店子 4. 名子 5. 日用

問C 下線部ハの後、人別帳から外された者を何というか。

1. 無宿人 2. 地借人 3. 店借人 4. 小作人 5. 奉公人

問D 下線部ニに関連して、江戸時代の村とその生活の説明で正しいものはどれか。

1. 年貢は領主に対して個人がそれぞれ納めた。
2. 幕府領の年貢収納法は、享保期に定免法から検見取法に転換した。
3. 村の秩序を乱した者へは、村八分の制裁があった。
4. 村の構成員は農民に限られ、宗教者や商人・職人は含まれなかった。
5. 村の独立性が強く、村々で共同して結成する組織はなかった。

問E 空欄ホと空欄ヘの組み合わせで正しいものはどれか。

1. ホ－中田 ヘ－上田 2. ホ－本田畑 ヘ－高請地 3. ホ－高請地 ヘ－本田畑
4. ホ－上田 ヘ－下田 5. ホ－下田 ヘ－上田

問F 下線部トはどのようにして進んでいったか。正しいものを選び。

1. 困窮した者に上層の百姓が田畑を担保に金を貸し、その質が流地になることによって進んだ。
2. 困窮した者の田畑を、上層の百姓が耕作していたことにより進んだ。
3. 困窮した者が、その田畑を上層の百姓に寄付することにより進んだ。
4. 領主からの無理な要求に対して自衛するため、上層の百姓に権利を譲ることにより進んだ。
5. 隣村との争いから村を守るため、上層の百姓に田畑を集中して村を強化することにより進んだ。

問G 下線部チに関連して、豪農についての説明で誤っているものはどれか。

1. 村役人でもあった豪農に対する不満は、しばしば村方騒動としてあらわれた。
2. 村に居住しながら商売を行う豪農が登場する背景には、商品経済の発達があった。
3. 豪農の中には、地域の政治・経済を担う責任者として、領主から苗字帯刀を許される者がいた。
4. 豪農を中心に、多くの村々共通の規則を取り決めることがあった。
5. 世直し一揆では豪農が頭取となって一揆を主導した。

問H 下線部リに関連して、江戸時代の民衆運動の中で合法運動に該当するものはどれか。

1. 全藩一揆 2. 惣百姓一揆 3. 国訴 4. 打ちこわし 5. 強訴

問I この史料が成立する前の出来事はどれか。

1. 異国船打払令発令 2. ゴローウニン事件 3. 加茂一揆
4. 生田万の乱 5. 三方領知替え反対一揆

問J この史料の引用部分に書かれていないことはどれか。

1. 近年、下層の百姓が上層の百姓から吸い上げられ、ますます両者の格差が大きく開いている。
2. 百姓が一揆を起こすのは、領主から収奪されているからだけではなく、上層百姓が下層百姓を貪っているからだ。
3. 繁華などでは種々の仕事もあるだろうが、百姓は農業一筋であるため、それがうまくいかなければ他国へ出るしかない。
4. 下層の百姓が困窮するのは、勤勉・分相応などの道徳心に欠けるからであり、自己責任だ。
5. 富裕な百姓は田畑を増やし、次男・三男を分家に出すほど余裕がある。

4 次の史料Ⅰ～Ⅲはある人物に関する同時代の評論である。この史料を読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。なお、史料はわかりやすくするために省略や変更を加えた部分もある。

（史料Ⅰ）

藩に **イ** 侯が、自ら骸骨を乞ふて〔※辞表を提出して〕大隈板垣両伯を奏薦し、以て内閣開放の英断を行ふや、藩閥家は侯を目して不忠不義の臣と為し、極力其挙動を詬罵するに反して、侯の政敵は寧ろ侯の英断を賞揚し、或は侯を以て英国の名相ロバートピール〔※ロバート・ピール＝イギリスの政治家〕に比するものあり、或は侯の内閣開放は、^{あたか}恰も徳川慶喜の政權奉還に似たる千古の快事なりといふものあり、或は曰く、是れ大隈板垣の両伯をして苦がき経験を^ハ管めしむる為なりと。されど余を以て侯を視るに、侯の退隱は、旧勢力と分離して、将来に來らむとする新勢力と統合せむが為めのみ。

（史料Ⅱ）

公は自ら新官制に基きたる内閣の總理大臣と為りて、各行政機関の運用を試みたりき。是れ将来に來らむとする議会に對せむが為に、政府の立憲的動作を訓練するに外ならざりき。斯くの如く公は一身を立憲政治の創設に捧げて其の能事を尽くしたれば、^ホ憲法の効果を取むるに就いても、亦無限の責任あるを感ずるは当然なり。

（史料Ⅲ）

侯は^ヒ窃かに故陸奥伯の手を通じて自由党と提携するの端を^{ヒラ}啓き、**チ**の後に至て終に公然提携の実を挙げ、板垣伯に**リ**の椅子を与へて、一種の連立内閣を形成したりき、是れ一は議院操縦の必要より來れるものなる可きも、其主要の目的は、實に藩閥を控制せむとするに在りしや疑ふ可からず、此を以て最も**イ**内閣に反感を抱きしものは、藩閥武断の一派にして、彼の藩閥の私生児たる**ヌ**が、民党と聯合して極力**イ**内閣の攻撃を事としたるは、適々以て其由る所を察し得可し。

史料出典：鳥谷部春汀『明治人物月旦』

問A 空欄イに当てはまる語句はどれか。

1. 伊藤 2. 黒田 3. 山県 4. 松方 5. 桂

問B 下線部口の人物に関して述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 廃藩置県にともない参議に就任した。
2. 征韓論の政変で下野後、議会開設後に入閣するまで、一貫して在野の立場で政治活動を行った。
3. 矢野文雄や小野梓といったブレーンに支えられ自由民権運動を推進した。
4. 1882年のヨーロッパ行きをめぐっては自由党内からも反対の声が起こり脱党者が出た。
5. 大同団結運動に際して岐阜で暴漢に襲われて負傷した。

問C 下線部ハに関して述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 土佐藩士後藤象二郎が前藩主山内容堂を通じて建策したものである。
2. 同じ日にいわゆる討幕の密勅が下された。
3. この挙により天皇・三職らによる小御所会議が政策決定の場となった。
4. この挙と同時に大老・老中職も廃止された。
5. この挙により江戸幕府は廃絶した。

問D 史料Iが論じている内容と同じ年に起こったことを述べた文章として、正しいものを2つマークせよ。

1. 演説内容が問題となり文部大臣が辞職に追い込まれた。
2. 衆議院議員選挙法が改正された。
3. 軍部大臣現役武官制が制度化された。
4. 旧進歩党員らにより憲政本党が設立された。
5. 山県有朋が内閣を組織し、憲政党员が入閣した。

問E 下線部二の内閣の時期に起こった出来事を述べた文章として、誤っているものを2つマークせよ。

1. 枢密院で憲法草案が審議された。
2. いわゆる鹿鳴館外交が行われた。
3. 自由党が解党した。
4. 大隈重信が外務大臣に就任した。
5. 大同団結運動が行われた。

問F 下線部ホの内容に関して述べた文として、誤っているものを2つマークせよ。

1. 天皇大権の一つとして戒厳令が規定され、のち日比谷焼き討ち事件、関東大震災、二・二六事件などで発令された。
2. 天皇大権として陸海軍の編制および常備兵額を定める統帥権（統帥大権）が規定された。
3. 天皇大権として緊急勅令が規定されたが、次の議会の承認を必要とした。
4. 天皇大権として帷幄上奏権が定められ、のちにこれがもととなり第二次西園寺内閣が倒れた。
5. 言論・出版・集会・結社の自由などの国民（臣民）の権利は法律の範囲内においてのみ認められた。

問G 下線部ヘの人物が外務大臣をつとめた時代に結ばれた条約に関して述べた文として、正しいものを2つマークせよ。

1. 欧米列強の最恵国待遇が廃止された。
2. 外国人居留地が廃止された。
3. 駐英公使青木周蔵によりロンドンで調印された。
4. 台湾や尖閣諸島、澎湖諸島などが日本に割譲された。
5. 朝鮮が日本の属国となることが認められた。

問H 下線部トに所属した人物の著作として、正しいものを2つマークせよ。

1. 『経国美談』
2. 『三酔人経綸問答』
3. 『佳人之奇遇』
4. 『蹇蹇録』
5. 『民権自由論』

問I 空欄チと空欄リを組み合わせて正しいものはどれか。

1. チ 日清戦争 リ 内務大臣
2. チ 日露戦争 リ 内務大臣
3. チ 日清戦争 リ 外務大臣
4. チ 日露戦争 リ 外務大臣
5. チ 日清戦争 リ 衆議院議長

問J 空欄ヌに当てはまる語句はどれか。

1. 立憲帝政党
2. 軍部
3. 立憲政友会
4. 吏党
5. 大成会

5 次の文章I、IIを読んで、下記の設問（A～J）に答えよ。

I

大蔵卿に就任した大隈重信は積極的な経済政策によって工業化を目指したが、政策的にはかえって行き詰まる結果となり、1870年代末が近づくと政策転換を迫られるようになった。

大隈が失脚し、新たに大蔵卿となった松方正義は、厳しい緊縮財政を実施して混乱した通貨制度の收拾をはかると同時に、中央銀行として設立された日本銀行を中心に銀行システムの整備を進めた。1880年代半ばにデフレが収束し、通

貨・金融システムが安定すると、鉄道業や紡績業などを中心に近代企業設立のブームが起り、ようやく日本でも本格的に産業化が進み始めた。

他方、松方財政は深刻なデフレを通じて農村にも多大な影響を及ぼした。デフレの中で農村は他の諸産業に余剰労働力を供給するプールとなり、ようやく開始された産業化を労働市場から支えるという構造が創り出されていった。

こうして松方デフレの収束をきっかけとして、日本も産業革命と資本主義の時代を迎えることとなった。もっとも日本の場合、産業革命は繊維産業などの軽工業を中心に展開し、重化学工業はなかなか定着できなかった。

問A 下線部イの大隈大蔵卿の経済政策に関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 国立銀行条例が改正され、兌換義務がなくなると国立銀行の設立が相次いだ。
2. 西南戦争の戦費を捻出するために、政府は不換紙幣を増発した。
3. インフレが深刻化し、歳入を地租に依存する政府の財政は困難になった。
4. 1880年に工場払下げ概則の方針を決めたが、官営事業の民間払い下げは進まなかった。
5. インフレの中で貿易収支は好転し、正貨の蓄積が進んだ。

問B 下線部ロの松方財政下の通貨・金融政策に関連して述べた文として、正しいものを1つマークせよ。

1. 国立銀行には銀行券発行権が認められており、国立銀行券の流通量は増加し続けた。
2. 増税により歳入を増やす一方で、軍事費を中心に財政支出を削減した。
3. 財政余剰を不換紙幣の増刷に充てたため物価が低落した。
4. 1880年代半ばに、銀貨と紙幣の価格差はほぼ消滅するに至った。
5. 日本銀行は設立直後から銀兌換銀行券を発行したが、兌換請求には遭わなかった。

問C 下線部ハの松方財政下の農村に関連して述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 土地を失い、小作農に転落する者が多く見られた。
2. 土地を失った農民の一部は都市下層に流入した。
3. デフレ下で地租負担が増加し、自作農の家計は悪化した。
4. 地主は小作人から高率の現物小作料を取り立てた。
5. 地租負担がないため、デフレ下で小作人の家計は好転した。

問D 下線部ニに関連して産業革命期の経済社会について述べた文として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 池貝鉄工所により先進国水準の旋盤が国産化された。
2. 日露戦後には大紡績会社が織布を兼営し、朝鮮・満州の綿織物市場に進出した。
3. 器械製糸による生糸生産が増加し、フランス向けを中心に輸出が大きく伸びた。
4. 政府は造船奨励法、航海奨励法を制定し、海運業と造船業を同時に振興した。
5. 日清戦争の賠償金を利用して欧米と同じ金本位制を採用し、貿易を振興した。

問E 下線部ホの産業革命期の産業構造に関連して述べた次の文章の空欄 a～c に当てはまる語句の組み合わせとして、正しいものを1つマークせよ。

重工業部門は軽工業部門に比べて生産過程で **a** の占める比重が高い産業であり、**a** 財価格の高さは製品コストを押し上げた。また、**b** のために **c** が普及しない等、重工業製品の市場は制約されていた。

1. a 固定資本 b 低賃金 c 機械
2. a 固定資本 b 電力不足 c 電気製品
3. a 固定資本 b 低賃金 c 電気製品
4. a 流動資本 b 電力不足 c 電気製品
5. a 流動資本 b 低賃金 c 機械

II

大正・昭和初期には資本主義社会の成熟化に対応して社会思想の面でも変化がみられた。知識人に最も大きな影響を与えたのはマルクス主義であった。マルクス主義は資本主義批判の思想として共感を得ただけでなく、人文・社会科学の学問研究にも影響を与え、野呂栄太郎、山田盛太郎らはマルクスの発展段階論を日本近代史に応用し、その研究成果を『**へ** 講座』にまとめた。

思想や学問研究の移入だけではなく、日本独自の思想形成や学問研究も進んだ。自然科学では **ト** による黄熱病研究、本多光太郎のK S 磁石鋼の発明、人文科学では西田幾多郎の哲学研究や『遠野物語』を著した **チ** による「常民」文化に関する民俗学研究などに独自の成果が現れた。

社会主義思想の広まりとともに、文学界でも、階級闘争論への共鳴の下に労働者の生活実態などについて創作を進めようとする **リ** 文学運動がさかんとなり、機関誌として『種蒔く人』などが出版された。

美術界では、主流派に対抗する洋画の在野勢力によって二科会などが設立されたが、日本画壇では横山大観らが **ヌ** 院を再興し、院展などを通じて伝統的な日本画とは異なる近代絵画としての新しい様式を追求するようになった。

問F 空欄へにあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字9字で記せ。

問G 空欄トにあてはまる人名を、記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

問H 空欄チにあてはまる人名を、記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

問I 空欄リにあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に6字で記せ。

問J 空欄ヌにあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に漢字4字で記せ。

6 次の文章I、IIを読んで、下記の設問(A～I)に答えよ。

I

1955年にはアメリカの景気回復を背景に輸出が大幅に増え、日本経済は上向いた。1956年に発表された『経済白書』は、これまで特需に依存して成り立っていた日本経済も、ようやく安定軌道に乗ったとして、「もはや『戦後』ではない。われわれはいまや異なった事態に当面しようとしている。回復を通じての成長は終わった。今後の成長は近代化によって支えられる。」と述べた。そして1955～1957年にかけて技術革新を伴った設備投資ブームが到来し、景気は拡大した。この大型景気は、有史以来という意味で「神武景気」と名付けられた。しかし、第二次中東戦争による **a** の封鎖や、政府・日本銀行による金融引き締め政策などの影響を受け、好景気は終息に向かい、1957～1958年にかけて不況（後に「**b** 不況」と呼ばれる）が訪れた。

1955～1973年の年平均実質経済成長率は、10パーセント前後を記録し、後に高度経済成長期と呼ばれた。産業構造は高度化し、第一次産業の比率が低下し、第二次産業、第三次産業の比重が高まった。工業生産額の3分の2を重化学工業が占め、安価な原油の安定的な供給が不可欠になった。一方で、米などわずかな例外を除いて食料の輸入依存が進み、食糧自給率は低下した。

II

高度経済成長によって国民生活にゆとりが出ると、レジャー産業やマスメディアも発達した。新聞・雑誌などの書籍発行部数が激増し、松本清張、司馬遼太郎などの人気作家も輩出した。1953年にはテレビ放送が開始され、日常生活に欠かせないものとなった。

新聞や雑誌、テレビなどで大量の情報が流されると、生活様式は次第に画一化され、多くの国民が **c** 意識を持つようになった。そうした中で高校・大学への進学率が上昇し、教育の大衆化が進んだ。受験競争が激化し、無気力・

無関心・無責任の「**d**」が広がる一方、高校や大学では民主化を求めて学園紛争が起こった。

科学技術の発達もめざましく、朝永振一郎、江崎玲於奈がノーベル賞を受賞した。オリンピック東京大会や日本万国博覧会なども開催され、経済・文化面での日本の発展が世界に向けて示された。

問A 空欄 a にあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に5字で記せ。

問B 空欄 b にあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に記せ。

問C 空欄 c にあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に2字で記せ。

問D 空欄 d にあてはまる語句を、記述解答用紙の解答欄に4字で記せ。

問E 下線部イに関する文章として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 朝鮮戦争をきっかけとしているので、朝鮮特需という。
2. アメリカ軍に対する武器・弾薬・機械・車両の製造や修理などが需要の中心であった。
3. 1950～1953年の間、最初の1年間は繊維や鋼材の需要が多かったため、「糸へん・金へん景気」と言われた。
4. 特需景気であったが、実質国民総生産が戦前（1934～1936年の平均）の水準に回復するのは1955年となった。
5. 1950年6月～1956年6月の間、物資では兵器・石炭、サービスでは建設・自動車修理などの契約高が多かった。

問F 下線部ロに関連して、神武景気以降の景気拡大期とその時期の内閣総理大臣の組み合わせ（2人以上該当する場合はいずれか1人）として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 神武景気 - 鳩山一郎
2. 岩戸景気 - 石橋湛山
3. オリンピック景気 - 池田勇人
4. いざなぎ景気 - 佐藤栄作
5. 列島改造ブーム - 田中角栄

問G 下線部ハに関連して、次の①から⑤の各言葉を使用して（順序は任意。ただし「①は～」のような丸数字での記述は不可）、エネルギー産業をめぐる当時の状況を説明する80字以内の文章を、記述解答用紙の解答欄に記せ。なお、句読点も1字として数えよ。

- ① 解雇 ② エネルギー革命 ③ 三池争議 ④ 斜陽化 ⑤ 閉山

問H 下線部ニに関して、松本清張または司馬遼太郎の作品として、誤っているものを1つマークせよ。

1. 『砂の器』 2. 『梟の城』 3. 『飼育』 4. 『点と線』 5. 『坂の上の雲』

問I 下線部ホに関連して、日本人がノーベル賞を受賞した時期の順序（早い順）として、正しいものを1つマークせよ。

1. 朝永振一郎 → 川端康成 → 佐藤栄作 → 江崎玲於奈 → 福井謙一
2. 川端康成 → 朝永振一郎 → 江崎玲於奈 → 佐藤栄作 → 福井謙一
3. 朝永振一郎 → 江崎玲於奈 → 川端康成 → 佐藤栄作 → 福井謙一
4. 川端康成 → 朝永振一郎 → 佐藤栄作 → 江崎玲於奈 → 福井謙一
5. 朝永振一郎 → 川端康成 → 江崎玲於奈 → 佐藤栄作 → 福井謙一

〔以下余白〕

<2021 R03153316>

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) ・ 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。
 記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
 ・ 受験番号・氏名は左右の両欄に記入すること。
 ・ 解答はすべてHBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで所定の解答欄に記入すること。

日本史

記述解答用紙

<2021 R03153316>

受験番号	万	千	百	十	一
氏名					

(注意) ・ 所定欄以外に受験番号・氏名を記入してはならない。
 記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。

日本史

(この欄には解答を書かないこと)

採点欄

5

F	
G	
H	
I	
J	

6

A	
B	
C	
D	

G

1

--

2

--

3

--